

2018年3月期第3四半期 決算説明会Q&A

Q: T&M事業のQ3営業利益率が9%と好調だった理由は何か？

A: 2015年から取り組んできた経営構造改革の成果であり、損益構造が改善し利益感応度が上がった。

Q: 車載関連市場はどの分野でビジネスチャンスがあると考えているか？

A: 例えば、欧州では、eCall（車両緊急通報システム）が、2018年4月より義務化されます。さらに今後、自動車の安全性を高めて事故の低減を図るADAS（先進運転支援システム）の普及・発展に向けたレーダー機能の拡張や、車車間通信/路車間通信（V2X）の導入など、当社の強みを活かせる分野がさらに拡大していくと期待している。

Q: Q4以降の5G、IoTの事業機会の波とLTEの事業機会の波を比べると何か違いがあるのか？

A: LTEはスマートフォンを中心に市場が拡大したが、5Gは様々な産業分野に広がり、通信以外のプレーヤーの参入が期待できる。

Q: 5Gの要求条件は、高速・大容量化、多数同時接続、超低遅延の3つである。アンリツは、どの要求条件において強みを発揮するか？

A: まずは高速・大容量化、多数同時接続に対応する。超低遅延に関しては、標準化の進捗に合わせ、例えば、自動運転を実現させるための社会基盤の構築に将来的に貢献できると考えている。

Q: その他事業が好調だった理由は何か？

A: デバイス事業において中国を中心に、光デバイスの需要を獲得できた。